

(対象期間：2018/5/14～5/18)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
 (2016年1月4日～2018年5月18日)

【株式市場】

週前半は国内でテロ事件が相次いだことなどを背景に変動の激しい相場となり、軟調に推移しました。17日のインドネシア中央銀行（BI）の金融政策決定会合を前に週半ばには買戻しも見られましたが、BIが0.25%の利上げを決定した後も市場心理の改善は見られず、18日に株式市場は再度下落しました。セクター別では鉱業、農業が上昇した一方で、金融、消費財、基礎産業・化学などが下落しました。

2018/5/11	2018/5/18	変化率
5,956.83	5,783.31	-2.91%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
 (2016年1月1日～2018年5月18日)

【債券市場】

週前半の債券市場は小動きとなりましたが、17日のBIの金融政策決定会合を前にして、週半ばには利益確定売りが優勢となりました。インドネシア国内でテロ事件が相次いだことも市場心理を悪化させました。17日にBIは国内市場の安定化を目的として利上げを決定しましたが、ルピアの下落などを受けて18日に10年国債利回りは再度上昇（価格は下落）し、週間では小幅な上昇となりました。

2018/5/11	2018/5/18	変化幅
7.142	7.393	+0.251

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
 (2016年1月1日～2018年5月18日)

【為替市場】

週初から週半ばにかけては4月の貿易統計が予想に反して赤字となったことや、17日のBIの金融政策決定会合を前にした利益確定売りから軟調となりました。BIは国内市場の安定化を目的として利上げを決定しましたが、市場心理の改善が見られず18日にルピアは再度下落しました。一方で対米ドルで円安が進行したことからルピアは対円では小幅な上昇となりました。

2018/5/11	2018/5/18	変化率
0.783	0.786	+0.31%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

180521 (04)